



題字 廉隅 進

## 第60号

明治大学体育会  
ワンダーフォーゲル部  
なため会会報

屋を直撃する恐れのある危険木だ。大木を倒す方向にあるカエデやブナなどをチェーンソーで切り倒していく。そのカエデやブナも樹齢は少なくとも数十年が経過した高木である。

翌六月一日、水場近くのブナから取り掛かる。かか

## 手白小屋事故顛末記

BN  
865 高田 昌也

「ちょっと待ったー」という悲鳴とともにモミの大木は小屋を目標に倒れていった。だれもが想像できなかつた結末を目の当たりにして「アーッ」という叫んだ後、声が出なかつた。六月一日、先輩たちが力を尽くして建て、現役、OBが守ってきた奥鬼怒山荘の屋根に大木が倒れ、一階の広間が使用不可能になつた。五十年以上的小屋の歴史で初めての事故を目撃した者として報告する。



モミは根を露わにしてひっくり返つていた。切り口を見ると、幹の中の半分は朽ち、空洞化が進んでいた。根も幹も自分の重さに耐えきれず、想定外の方向に倒れてしまったようだ。今回作業をしないで、台風で倒れたら、小屋の屋根の中央部を直撃し、再建不可能な被害となることは容易に想像できた。

また、幸いなことにけが人が一人も出なかつた。倒れたときには、倒れるシーンを見ようとした小屋内に誰もいなかつた。倒れる直前に小屋に着いた後発組の現役部員らが小屋玄関前にいたのを諏訪本監督が「反対側に回れ」と指示した。指示がなければ、モミの直撃を受け、大惨事になるところだった。

モミは一階広間の山側の屋根を三枚にわかつてぶち抜いた。梁の一部が折れ、垂れ下がっていた。広間とストーブの間の壁も歪んでいた。修理には相当の作業が予想された。



五月三十一日に小屋入りしたのは、諏訪本監督以下OB、現役に加えて、丹沢で林業を営む前田OB（BN1106）と社員一人。前田OBたちは、三十一日から精力的に下準備に取り掛かっていた。今回倒すのは水場近くのブナと小屋裏に不気味に立ち尽くすモミの大木の二本。両方とも幹回り一・五㍍、全高三十㍍を超える。強風などで倒れれば、小

五月三十一日に小屋入りしたのは、諏訪本監督以下OB、現役に加えて、丹沢で林業を営む前田OB（BN1106）と社員一人。前田OBたちは、三十一日から精力的に下準備に取り掛かっていた。今回倒すのは水場近くのブナと小屋裏に不気味に立ち尽くすモミの大木の二本。両方とも幹回り一・五㍍、全高三十㍍を超える。強風などで倒れれば、小

屋を直撃する恐れのある危険木だ。大木を倒す方向にあるカエデやブナなどをチェーンソーで切り倒していく。そのカエデやブナも樹齢は少なくとも数十年が経過した高木である。



そして冒頭のシーンを迎えることになった。

スローモーに傾き始める。ブナは想定通りの方向にきつちりと倒れた。  
休憩を挟み、幹回り一・八㍍のモミの大木に挑む。前田OBたちはブナよりも時間をかけ、倒す方向を確認する。ワイヤーをかけ、けん引具でピンと張る。受け口を入れる。追い口を入れる。同じ手順を踏み、キリキリとけん引具を回す。「ピキッ。ピキッ」と泣き声が聞こえる。「ビキビキッ」と木肌が裂け、

数え切れないほど細かく年輪を重ね、何年も前から存在した木を倒すということは、神の域に足を踏み入れる所業である。諏訪本監督は倒す木に酒を獻げ、お祓いを欠かさなかつた。それでも神の怒りに触れたのだ。ただ、小屋を修理することは赦され、立派に再建された。これからは山の神の怒りに触れぬよう大切に小屋を守つていきたい。

## 運営委員選任にあたり自己紹介

BN  
1216 川澄 剛史

この度、運営委員会に選任頂きました川澄剛史です。卒業年度は、平成18年度と卒業から13年あまり経ちますが、その間、勤め先がメーカーの営業職という宿命からか、転勤が多く、名古屋、茨城と渡り歩き、現在は東京勤務となっています。卒業後は全くワンダーフォーゲル部に関わる機会がなかったのですが、なぜ急に、この様な形でなため会に運営委員として携わらせて頂くことになったのか、今回、その経緯を簡単にご紹介したいと思います。

遡ること19年の9月のある日、一通のショートメールを貰いました。OBの上原先輩からです。内容は、今度の三連休に手白小屋で歩荷があるので来てください、という至ってシンプルなものでした。最初は何のことだかよくわからず、急な予定でしたので、正直迷いました。三連休の初日は会社のゴルフの予定が入っていましたし、残りの二日間についても家族サービスを反故にするわけにはいかないなど…

しかしながら、上原先輩から今度はLINEで写真が送られて来ました。その写真は衝撃的なものでした。そうです、手白小屋が倒木で崩壊している写真です。これは放つて置けないと、仮にも現役の時は手白小屋係をしていたということから、そういう感じもあり、

手白小屋修復のための資材搬入の歩荷に即座に参加の意を固めました。

9月22日。どうしても三連休初日の予定は動かせなかつたので、一日目から参加することになりましたが、上原先輩や他の先輩方々も一日目から歩荷に参加するということで、半分心強い反面、もう半分は久しぶりにOBの方々に会うということで緊張と不安が入り混じっていました。

卒業してから、山はほぼ登つていなかつたのですが、キャンプなどアウトドア趣味は続けていた為、装備は一応そろえられたのですが、なにぶんブランクが長く、最初の明大テラスまでの道のりは非常に長く感じられ、また現役の時にはなかつた傾斜のキツさを感じました。

歩荷自体は、

色々と現役当時のことを思い出したり、小屋の細部や手白澤温泉からのルートなど自分の記憶と答え合わせするような感覚で、ある意味、楽しみながら作業をしていました。そして、歩荷はOBの総力

で予定よりも早く完了しました。

その後は、焚火を囲み夕食をとり、お酒も入り、久しぶりのOBの方々と、とても楽しく懇談をさせて頂きました。

さてそんな中、無事一日も終わると思いきや、ふと諏訪本監督から「運営委員をやらなければ?」と、不意打ちの一言。その時の私は、そもそも運営委員が何かも分からなかつたのですが、たまたま異動で東京に戻ってきたタイミングで、今日この歩荷に参加したことは運命だと思い、また現役の時に育ててくださったワンゲルへの恩返しという思いから二つ返事でOKをしました。

だいぶブランクがありますが、現役やOB、部のために微力ながら尽力させて頂きりますので、今後とも宜しくお願い致します。



ボッカで新助沢を渡涉

## 2019年度 明治大学体育会ワンダーフォーゲル部 なため会 幹事会・忘年会

■日 時 2019年12月14日(土) 12時30分～14時30分 ■場 所 リバティタワー23F

◆式次第

●幹事会

12:30 開会

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| 一、幹事長挨拶                 | 猪狩幹事長 |
| 一、議事                    |       |
| 第一号議案                   |       |
| 2019年度 組織変更（案） 猪狩幹事長 承認 |       |
| 第二号議案                   |       |
| 2019年度 事業進捗報告 猪狩幹事長 承認  |       |
| 第三号議案                   |       |
| 奥鬼怒山莊事故、修繕報告 諏訪本監督 承認   |       |



一、閉会

●忘年会

13:00 開会

- |           |  |
|-----------|--|
| 一、会長挨拶    |  |
| 一、乾杯      |  |
| 一、歓談 くじ大会 |  |
| 一、部歌齊唱    |  |
| 一、校歌齊唱    |  |
| 一、写真撮影    |  |



14:30 お開き

猪狩幹事長より報告

くじ引き大会の賞品授与

◆出席者：48名（会員39名、学生9名）

●会員：39名

|            |           |            |           |           |            |
|------------|-----------|------------|-----------|-----------|------------|
| 228 島林 順三  | 299 大内 善一 | 345 吉田 修   | 392 内田 吉成 | 393 植木 正子 | 398 小林 伸行  |
| 451 山田 祥二  | 455 飯村 朋圀 | 487 鈴木 康弘  | 489 野村 司  | 501 前田 芳弘 | 505 椎橋 稔   |
| 527 池田 陽一  | 530 磯崎 守弘 | 532 鈴木 正彦  | 538 佐藤 寛  | 558 奥倉 勇一 | 610 石田 正   |
| 614 石井 克太  | 661 大賀 徹雄 | 705 杉山 裕   | 714 南出 進  | 717 住田 孔一 | 728 横尾 廣志  |
| 751 諏訪本充弘  | 764 高橋 寿子 | 775 小田野義之  | 788 原田 博文 | 792 柳川 俊泰 | 817 和賀井英雄  |
| 835 猪狩 稔   | 871 平田 正博 | 879 井上 稔也  | 897 山下 仁志 | 915 日暮 浩美 | 1064 井上 堅一 |
| 1075 清水 晴日 | 1115 上原 誠 | 2120 鈴木 元典 |           |           |            |

●学生：9名

|          |          |          |          |         |          |
|----------|----------|----------|----------|---------|----------|
| 主将 小野 剛志 | 主務 梅野 航  | 4年 杉本 雪乃 | 4年 小林 亮太 | 4年 岡田 茜 | 4年 家子 貴暁 |
| 4年 尾島 佐和 | 4年 手島 寛人 | 2年 井上 遼大 |          |         |          |



## 2019年度 明治大学体育会ワンダーフォーゲル部 なため会 組織

## 会員総会

## 幹事会

■顧問 田村 敏夫(800) 新田 功(1100) 長峰 章(1000)

■部長 高橋 信勝(1200)

|                 |            |            |            |
|-----------------|------------|------------|------------|
| ■相談役 新村 貞男(181) | 小林 碧(197)  | 島林 順三(228) | 篠崎 徳量(241) |
| 大内 善一(299)      | 西村 幸一(313) | 足立 康弘(339) | 吉田 修(345)  |
| 内田 吉成(392)      | 紀伊辰之助(423) | 天野 淳明(477) | 鈴木 正彦(532) |

## 運営委員会

|   |
|---|
| ■役員 会長 大賀 徹雄(661)                       |
| 副会長 住田 孔一(717)                          |
| 幹事長 猪狩 稔(835)                           |
| 副幹事長 日暮 浩美(915)                         |
| 監事 石田 正(610) 横尾 廣志(728)                 |
| 駿台体育会理事 諏訪本充弘(751) 和賀井英雄(817)           |
| 参 与 奥倉 勇一(558) 横手 一男(683) 濱田 稔(795)     |
| 監 督 諏訪本充弘(751)                          |
| コーチ 井上 堅一(1064) 岩田 卓也(1265) 浜口小百合(1273) |
| 諏訪部貴亮(1282) 由水 雅也(1306)                 |

|   |
|---|
| ■部会 総務部 (部長) 小田野義之(775) (副) 原田 博文(788) 日暮 浩美(915)                                       |
| 財務部 (部長) 柳川 俊泰(792) (副) 上原 誠(1115)  |
| 広報推進部 (部長) 井上 稔也(879) (副) 住田 孔一(717) (副) 加藤 章一(845)<br>鈴木 康弘(487) 一色 雅男(570) 石井 克太(614) |
| 企画振興部 (部長) 丸山 貞二(859) (副) 山下 仁志(897) 龍 君江(838)<br>平田 正博(871) 井上 堅一(1064)                |
| 山小屋管理部 (部長) 杉山 裕(705) (副) 植木 進(846) 山口 直樹(1017)   |
| 事業運営部 (部長) 猪狩 稔(835) (副) 山下 仁志(897)   |

|   |
|---|
| ■運営委員 前田 芳弘(501) 池田 陽一(527) 石井 克太(614) 野島 一雄(676) |
| 龍 君江(838) 平田 正博(871) 高田 昌也(865) 清水 晴日(1075)       |
| 加藤 嘉寛(1107) 川澄 剛史(1216)                           |

## 上記以外の幹事

## &lt;組織変更案 詳細&gt;

| 幹事会 提案期日    | B N O | 氏名    | 異動内容       |
|-------------|-------|-------|------------|
| 2019年12月14日 | 1006  | 安部 好洋 | 事業運営部部長退任  |
| //          | 835   | 猪狩 稔  | 事業運営部部長選任  |
| //          | 897   | 山下 仁志 | 事業運営部副部長選任 |
| //          | 865   | 高田 昌也 | 運営委員選任     |
| //          | 1075  | 清水 晴日 | 運営委員選任     |
| //          | 1107  | 加藤 嘉寛 | 運営委員選任     |
| //          | 1216  | 川澄 剛史 | 運営委員選任     |

## ■オリジナル手拭について

この度、なため会重点取組の一つである「会員サービスの向上」の一環としてオリジナル手拭を会員の皆様にお送り致しました（今号に同封）。今後ともご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

幹事長 猪狩 稔

■ 第71回なため会ワンデルング報告  
「不老山ワントレルングと世附川BBQ」

日程：2019年10月26日（土）～27日（日）

タイムスケジュール

駿河小山駅集合→8：30出発→9：00金時公園  
→11：30不老山山頂（昼食30分）→12：40世附峠  
→14：30世附川ロッジ到着→その後希望者は中  
川温泉→就寝まで宴会

今回は山を登ることにそれほど執念を持たない企画振興部のHが幹事を務めましたことだな



気持ち的にはBBQに軸足を置いた企画となりました。

筆者自身世附川ロッジには何回かお世話になつてゐるのですが、今回は特別にBBQの食材買い出しに小田原まで行ってまいりました。小田原は駅のそばをちょっと散策しただけでも安くて新鮮な海産物が豊富にありますので、今後世附川ロッジにご宿泊の際は是非小田原まで足を延ばしてあれこれと買い込んで豪華な海鮮BBQをお楽しみいただくのが宜しいかと愚考する次第です。

■ 2020年（令和2年）なため会W予定

| 回数        | 企画名   | 日時              | 地域      |
|-----------|---|-----------------|---------|
| ①<br>第72回 | 幻の東京五輪マラソンコース探訪                                   | 2020年<br>9月15日  | 都内      |
| ②<br>第73回 | パラリンピックコースとして存続の「コース探訪。<br>各種メニューを用意して浅草での宴会で締める。 | 2020年<br>6月5～7日 | 奥日光     |
| ③<br>第74回 | 奥鬼怒山荘泊W   | 2020年<br>7月18日  | 中央沿線    |
| ④<br>第75回 | 奥鬼怒山荘OBワークとのコラボ企画で6・7日の<br>みの参加もOKです。登山コースは未定。    | 2020年<br>10月31日 | 伊豆      |
| ⑤<br>第76回 | 夏場企画として20,000m超の山頂を堪能します。                         | 2021年<br>2月20日  | 美の山（蓼山） |
|           | 伊豆周辺の低山と日帰り温泉、地魚で一杯のホット<br>コリ企画を予定しています。          |                 | 秩父      |
|           | 武甲山・両神山をはじめ秩父盆地を一望します。                            |                 | 武甲山     |

※お問合せは左記アドレスの企画振興部宛にお願いします（企画委員全員へ転送されます）。

Kikaku@natamekai.org

電話の方は左記に担当者宛にお願いします。

BN 859 丸山真一 090-08248-303

世附川ロッジまでの道のり途中には朝取り野菜直売所や道の駅の地元産品直売所もありますので、BBQが目的でしたら家から持っていくものはビールやお酒類だけで大丈夫ですよ！

参加者

1064838505 稔、751 謙訪本充弘、775 小田野義之、  
井上 堅一、1106 前田 裕司、2120 鈴木 元典  
龍君江ご夫妻、871 平田 正博、897 山下仁志、

企画振興部 平田 正博



昨年の第70回ワンデルング（大菩薩峠）

## 木場道会報告

BN  
614 石井 克太

久し振りに木場道会の旅行会が行われました。今回は宮城県石巻市に在住の亀山正人君と宮城県富谷市在住の杉山和広君の企画で10月16日（水）～17日（木）の2日間、郡山～会津若松～東山温泉（泊）～喜多方のコースです。本来ですとマネージャーの和田満君も参加するはずでしたが、残念ながら5月に亡くなられたので奥さんが参加されました。他には雨宮、岩崎（旧姓・半井）、岩永（長崎在住）、粕谷、小林、田中、中山、藤浦、森川（旧姓・松尾）、山本夫妻（大分在住）、綿引、そして私の計16名のメンバーです。

初日の集合場所はJR郡山駅で、亀山・杉山・綿引君等に車を出してもらい、分乗で一路会津若松に向いました。郡山駅を出てしばらくすると台風の爪痕が残る幹線道路を走って会津若松市内に入り、昼食後戊辰戦争の中心地でもあった鶴ヶ城を見学し、その後白虎隊で有名な飯盛山に登って鶴ヶ城を眺めて感慨深いものを感じました。会津若松を後にして宿泊地である東山温泉に行き、宴会ではサプライズで岩永君のフルートの演奏があり、現役時代に戻り昔話に花が咲いていました。

2日目は喜多方に向かい、「会津ぴん

こより観音」で有名な弘安寺の中田觀音と金塔山惠隆寺の立木觀音を見ることができました。次に向かった新宮熊野神社では「長床」を見学し、一日で東北の古寺・神社を見ることができました。喜多方市内に入り、酒造りで有名な会津ほまれ酒蔵と庭園を鑑賞し、最後に「甲斐家」を見学して無事郡山に戻ってきました。翌日は綿引・松尾・岩永・亀山君



於：東山温泉

（後列左から）中山幹夫 岩永徹 綿引久男 粕谷崇 森川（松尾）修二  
田中義和 山本忍 石井克太 小林浩 杉山和弘

（前列左から）亀山正人 藤浦信明 和田夫人 山本夫人 岩崎（半井）紀久代 雨宮康夫

## 観音崎のこと

BN  
892 永井 正道

「本田の浦賀水道、晴れ。日差し暖かけれど北風強し。・・・」

このようなコメントを時折同期のグループLINEに投稿している。最初に投稿した際に秋山中将の名言

「本田天気晴朗なれども波高し」

が念頭にあり、格調高い文章を志したのになると、いつもへんてこな文語体のようなものになつてゐる。同期の面々は皆おおらかなため、今のところ何のお咎めもない。

因みに日本海海戦の旗艦「三笠」は横須賀の海岸に保存されており、艦内を観覧できる。浦賀水道についてのコメントを載せるようになったのは、自宅から2時間歩くと観音崎に着くためである。天気の良い休日に弁当を持って散歩に出かけ、ホテル裏のお気に入りのベンチでしばし行き交う様々な船舶を見ている。自分の中では東京湾岸警備局横須賀方面隊隊員としての報告義務を果たしている感覚である。

観音崎の地名は、その昔この地の海蝕洞窟に住む大蛇が舟を襲つなどの悪さをし村人が

等で久し振りにゴルフを楽しんだようです。今回の旅行を通じてクラブの絆は深いことを改めて感じ、皆さん元気が出たように思いました。



令和2年元旦 観音崎から鋸山



観音崎灯台

の入り口に設置された。楠より彫り出された柔軟なお顔の十一面観音で、左手に花瓶をお持ちで

ある。さて、どんな花を手向けよう。

観音崎には明治2年1月1日に我が国初の洋式灯台として誕生した灯台があり、横須賀市の小学生は必ず遠足で訪れている。私も初めて灯台に上ったのは小学五年生の春の遠足

で、天気が良く灯台からの海の景色が素晴らしい印象を覚えている。この文章を書くにあたり灯台に上ってみようと思い立ち、年の瀬も押し迫った土曜日に、海岸線の遊歩道から灯台への坂を登って行った。五年生の時に遠足の作文を書くことになり、担任から「表現がやや大げさであるが生き生きと書かれている」と赤ペンで「メント」を記入いただいた。

「坂の頂上近くになると、足に鉛の重りを五つも六つもぶら下げたように重くなり……などと書いていたのだからとても大げさであるが、『豊若先生』…還暦を迎えた今の私にとっては、少しも大げさではありません!」

灯台に上ると北風が強く毛糸の帽子を飛ばされそうになるが、五十年前と同じく見事な眺望である。眼下から広がる東京湾の海面は冬の日差しに輝き、漁船、貨物船、ヨット、タンカーといった船舶が行き過ぎていく。正面には房総半島の東京湾観音が小さく見え、右手に鋸山から洲崎へと連なる山並み、左手には富津・君津の工場地帯から東京湾アクアライン、さらに左手には横浜のベイブリッヂやランドマークタワーが確認できる。

「海の近くに生まれて良かった。」と改めて感じる。そう、中学時代は魚釣りに熱中し、夏休みには水中メガネと鉛を携え友達と一緒に魚を追い回したりバカ貝をとったりした。夢はクルーザーかヨットを持つことであつた。

和泉校舎での大学入試結果発表の際、飯塚さんにMWVのテントに引っ張り込まれ、猪狩さんの説明を受けた私は、「ヨット部に入るつもりですから……」と答えていたのであるが、いつの間にか入部していた。その後山の美しさや、自然の素晴らしさ、多くの先輩や友人に出会い、大切なものを沢山いたくことになつた。

「ガラん沢や花沼湿原なんか、そう簡単に行けるもんじやないよなあ。」

海も良し、山もまた良し。

「自然の中での生活を望んでるんだもう、大切にして行かなればならないぞ。」と自分に言い聞かせていく。

# 奥鬼怒山荘一部

# 損壊最終報告書

BN.835 幹事長 猪狩 稔

2019年7月の薰風で損壊事故の概要をご報告いたしましたがその後、山荘修繕実行委員会を立ち上げ、このたび修繕支援作業が無事完了しましたので、ご報告いたします。

OB、OG諸氏におかれましては何かとご心配をおかけしましたが、事故もなく修復することができました。改めて感謝と御礼申し上げます。

## 1) 期間

7月9日（実行委員会立ち上げ）～11月4日（修繕作業最終確認）

## 2) 実行委員会メンバー

| 氏名    | BN   | 摘要  |
|-------|------|-----|
| 石田 正  | 611  | 委員長 |
| 猪狩 稔  | 835  | 事務局 |
| 杉山 裕  | 705  | 小屋係 |
| 横尾 廣志 | 728  |     |
| 諏訪本充弘 | 751  | 監督  |
| 小田野義之 | 775  |     |
| 高田 昌也 | 865  |     |
| 井上 堅一 | 1064 | コーチ |
| 大和久栄治 | 1105 |     |
| 加藤 嘉寛 | 1107 |     |
| 上原 誠  | 1115 | 会計  |
| 川澄 剛史 | 1216 |     |

## 4) なため会 OBによる作業

OBが実施した主な支援作業は、山道の整備、資材の荷揚げ、残材の荷下及び確認作業です。内容及びおよその投入延日数は以下の通り。

| 作業内容         | 延日数  |
|--------------|------|
| ・山道整備        | 30日  |
| ・資材荷揚げ及び残材荷下 | 90日  |
| ・確認作業        | 5日   |
| 合 計          | 125日 |



塗装前修繕工事完了時

## 【事故発生当時の状況と修繕完了時の比較写真】



山道整備

## 事故直後の状況



## 5) 費用

|                |          |
|----------------|----------|
| ・東武建設修繕工事費     | 10,416千円 |
| ・資材荷揚げ及び残材荷下費用 | 2,315    |
| ・外壁塗装費用        | 119      |
| ・人件費その他        | 792      |
| 合 計            | 13,642千円 |

## (特記事項)

当初、修繕費がいくらかかるかわからず、また保険でカバーできる金額も未確定であったため、不足分をOBによる寄付を考えていたが、総費用13百万円全額が請負業者である(有)丹沢が付保していた保険で全額カバーされたため、負担をお願いすることなく修繕が終了した。

## 6) 今後の山荘維持管理について

大学スポーツ振興課、施設管理課によれば、大学側は施設のスリム化を進めている。利用率が低く、経年劣化した施設は廃止する方向であり、奥鬼怒山荘も対象の一つとなっている。奥鬼怒山荘建設以来、今まで現役、OBの努力と熱意により維持・管理されてきたことに理解を示しつつも、山荘を今後も継続して行くのかどうかの問題提起がなされた。

但し、廃止をする場合、建屋を取り壊し更地にして国に返却する必要がある。原状回復のため、数千万円と見積もられる解体費用をどう調達するかの課題が残っており、現状では正式決定には至っていない。(下記追加報告参照)

## 【追加報告】

2019年11月23日付け、スポーツ振興事務課増田事務長から高橋部長先生及び諏訪本監督宛て「奥鬼怒山荘の今後の取り扱い」というタイトルで正式な通知が来ています。

通知を要約すると、利用期間は築後60年となる2023年9月30日までとするが、劣化具合等にかんがみ、利用限度日を繰り上げる場合がある。尚、OB会等から山荘の建物所有権を含む、権利継承の願いがあれば大学として検討する。と記載されています。

とりあえず2023年までは現状通り使用管理できるわけですが、老朽化しているのは事実です。将来的に山荘の存続、維持・管理をどうするか、なため会としての意見集約を図っておく必要があります。

【塗装前と後の写真】  
(2019年11月5日現在)

↑  
塗装前



→  
塗装後

### ■発電機更新のご報告



新調された発電機

在事い席Bの千だ寄度開委臨員た事揚げに従  
で長て、い付前き、会運營委員が運営に運  
した大山千たい回、不幹だ臨〇会海たご丁を宮  
考え、荷

小屋の発電機は、2011年のBN<sup>1234</sup>吉澤悠介主  
将時のワークワンドレンジングの際、海千山千会のご  
寄付で納入されたガス発電機でした。よく風雪に  
耐えてきましたが、昨年ごろから調子が悪く、人  
を見てかかつたりかからなかつたりと不安定でし  
た。9月21日からのなため会総力をあげた荷揚げ  
の際、初日は丹沢林業の親方でもある前田裕司〇  
Bが一発でかけることができましたが、二日目は  
何故かかからず、BN871の平田正博プロの力を借り  
てもうまいかず、遅れてきた諏訪部〇Bが何と  
かする始末。その後、会計幹事の柳川〇Bと上原  
〇Bより、BN306の高山實〇Bから何かの時に有  
用に使ってくれとご寄付をいただいたと報告があ  
り、まさに金額も発電機の購入費にジャストミー  
ト。

| 30日  | 29日 |
|--|-----|
| 去年6月からご心配おかげしておりま<br>した奥鬼怒山荘ですが、おかげさまで修<br>繕され、冬を迎えることができました。  |     |
| 新調された発電機   |     |
| 発電機は台風の影響で千葉方面から品薄との情<br>報もあることなので、決めるなら早い方がいいと<br>想ふ。そこで、荷揚げに従事していきたい付前<br>回、会員が運営に運営に運営に運営に運営に運<br>した大山千たい回、不幹だ臨〇会海たご丁を宮<br>考え、荷 |     |
| 報告   |     |

が満場一致で新しい発電機を買うこととなりま  
した。  
折よくキャタピラーアイースト社に一台在庫が  
あつて購入となりました。高山先輩本当にありが  
とうございました。

監督 諏訪本 充弘

### ■2019年12月奥鬼怒山荘ワーク報告

日 程  
12月29日～12月31日（2泊）

参 加 者  
〇B7名

|      |      |    |     |     |
|------|------|----|-----|-----|
| 1064 | 705  | 杉山 | 775 | 小田野 |
| 井 上  | 諏訪 本 |    | 846 | 植木  |
| 1065 | 751  | 斎藤 |     |     |
| 齊 藤  |      |    |     |     |
| 2120 |      | 鈴木 |     |     |

現役4名  
3年..齋藤、2年..佐藤 佐々木 井上



年末の奥鬼怒山荘

皆さまのご協力ご尽力感謝申し上げます。  
時間を積み重ねて沁み込んできたものと、これ  
から使い込まれていくであろうまっさらなもののが  
組み合わせる壁の色の濃淡に、ワンダーフォーゲ  
ル活動を象徴的に感じております。

コーチ 井上 堅一

## 〔新執行部紹介〕



梅野 航  
(うめの わたる)  
主務、1班 SL、装備係チーフ  
経営学部経営学科  
出身地：東京都  
都立小山台高校



小野 剛志  
(おの たけし)  
主将、2班 SL、衛生・広報係チーフ  
政治経済学部経済学科  
出身地：神奈川県  
浅野高校



桑原 倫太郎  
(くわはら りんたろう)  
2班 PL、気象・針生係チーフ  
理工学部物理学科  
出身地：東京都  
都立竹早高校



伊藤 悠人  
(いとう ゆうと)  
1班 PL、装備・衛生係チーフ  
農学部食料環境政策学科  
出身地：東京都  
海城高校



杉本 雪乃  
(すぎもと ゆきの)  
会計、4班 SL、気象・手白係チーフ  
経営学部経営学科  
出身地：和歌山县  
近畿大学附属和歌山高校



家子 貴暁  
(いえこ たかあき)  
3班 SL、装備係チーフ  
文部科学科  
出身地：岩手県  
県立水沢高校



岡田 茜  
(おかだ あかね)  
4班 PL、衛生・手白係チーフ  
法学部法律学科  
出身地：兵庫県  
都立青山高校



小林 亮太  
(こばやし りょうた)  
3班 PL、編集・手白係チーフ  
法学部法律学科  
出身地：神奈川県  
サレジオ学院高校



手島 寛人  
(てしま ひろと)  
4班 SL、トレ係チーフ  
政治経済学部経済学科  
出身地：神奈川県  
平塚学園高校



尾島 佐和  
(おじま さわ)  
3班 SL、針生係チーフ  
法学部法律学科  
出身地：三重県  
桜丘高校

## 新主将挨拶

主将 小野 剛志

この度、令和2年度体育会主将となりました小野剛志です。ワンドーフォーゲル部が今まで良い部活になるよう一歩一歩前へ進んでいくことができると思います。

さて、今年度の執行部方針についてですが私たち三つの方針を決めました。

### 1 安全登山の徹底

### 2 メリハリのある部活にする

### 3 円滑な情報伝達

の三つです。1は毎年の事ではあります、登山は常に死と隣り合わせであるといつ事實を忘れないために方針として設定しました。2に関しては近年この部活が体育会であるという事実を忘れがちな雰囲気があります。まず4年が強く意思を提示することで後輩もそれに続いてくれればと思います。最後に3について。SNS全盛となつた昨今対面での対話が減っています。部活は人間教育の場でもあるので、自分の思いを相手に正しく伝えることのできる人間を輩出したいという意を込めて方針を設定しました。

主将としてはなれない役職に苦戦する日々が続いています。登山はサッカーや野球のような競技スポーツと違い対戦相手がないので部員のモチベーション管理が難しく感じています。魅力的な娛樂がすぐに手に届く場所にある昨今、この部活を第一に据えた学生生

活を送る部員は少なくなっていますが、入部して4年後皆が笑顔で終えられる部活を運営していきたいと思います。そのためにもなるための存在が不可欠だと思います。今日の集まりも、またこの後一年間もどうか我々を温かい目で見守つていただけすると嬉しいです。

## リーダー養成随行記

監督 諏訪本 充弘

今年は北海道合宿の影響でリーダー養成は9月3日から8日までいつものコースで行うことになった。後に出てくるようにかなりユニークなコースをたどったが?

今回の参加者は3年部員全員10名と主将杉井、4年大原、私を加えて13名週間の天気予報もありよくなく、会津バスの運転手が言っていた山の一番の駆走は天気だというのが思い出される。

小生も既に高齢者の仲間入りをしているわけで、1週間ほどのにわかトレでじこまで通用するか不安を抱えながら出発。

9月3日  
コースリーダーは尾島、バスを降りたらかなりの大降りの雨で憂鬱な気分になる。いつもの林道をサイト地までロード、  
尾島 コース分かりやすかつた。  
コースリーダー以外の感想では何と軍手を忘れたのが3人もいてビックリ、本来軍手は

予備も含めて2組が決まりだが3割の者が忘れるとは驚きであった。もともと軍手は20組が最小単位で販売しているので来年からは共同装備でまとめ買いをしたほうがいいかもしない。4年の感想は時間を守れ、キビキビ動けというものだった。

9月4日

今日のコースリーダーはクビレまで梅野、クビレから岡田。

定時に出発、少し早かったのでリーダーの杉井にエール講習をやるよう命じたが何やらムニヤムニヤしだけでなんとなく出発、大滝も何のかんの言いながら通過。沢が分岐するところにある収穫できないコシアブラが何と倒れていて、自然は厳しいな、でも来年は収穫できるな、などと考えていてうちクビレ田代に到着。

ここからは岡田、コース中1、2を争う所を女性がやるのか、大丈夫かな? そういえば5年前は鈴木優花がやつたな、その時独標1901の中腹から源頭までトラバースしたなどと思いながら以外に長時間登つていううち山頂で現在地をマネージしたら何と1901の山頂! これより岡田山! ということにする。

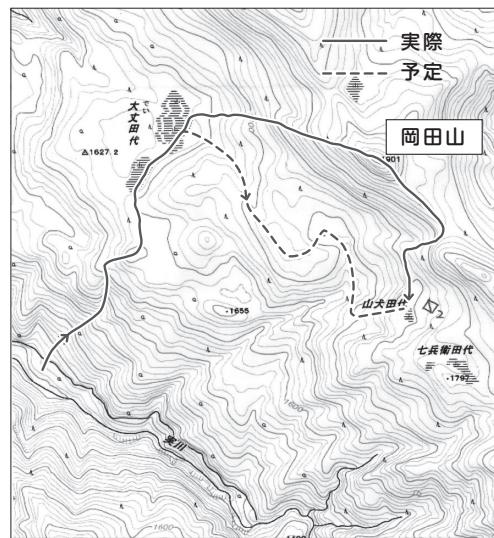
協議の結果1879へ続く鞍部まで降り、鞍部からの沢地形を折りて山犬田代にトラバースすることに決定。最悪でも源頭まで降りる覚悟で下る。

鞍部からの下りはかなりの劇ヤブでおおよそ標高1760まで降りたところで気象の時間、5人ほど先行させ先に行かせる。トランシーバーの何とありがたいことか。

先行した小林からどうやらサイト地に着いたと連絡を受ける。サイト地はまるでキャンプ場だぞと言つたがそうすることでテンントを立てて待つているように伝えて本隊は30分遅れで向かう。

着いてみると確かにミニキャンプ場みたいになつていたが50メートル先にいつものサイト地があり小林の納得。

今年は源頭を通らなかつたがこれはこれで悪くないなというのが私の感想。どうもクビレの上田代の沢のところから入ると1901年の稜線に乗りやすくて、そこから入れと言つ



た私の指示がまづかつたようだ。真横からは入れればいいが、ぬかるみが多くて、はまると悪臭がするので、そこを避けたのだが源頭を目指す場合は大いに工夫を要するようである。また、メインの沢以外にも地図にはない沢が複数あり、分かりにくいくことはなはだしい。

ただ、今まで気象通報の時間に山犬田代に着いたことはないので、1901（岡田山）

を越えるルートも覚悟を決めれば予定コースより早くつける可能性は高く、今後の課題になるものと思い、次年度は3年生の意見を聞いて、コース設定したいと思つた。

梅野 10時に田代に着いた、充実した、よかつた。

岡田 方向間違えた、反省してる、悔しかつた、疲れた。

小野 結果的に着いたのでよかつた、明日も頑張る、楽しかった。

家子 沢、方向、マップケース紛失。

伊藤 おかしかつたら言うべきだった。

尾島 おかしいと思いつつ言わなかつた。

桑原 朝、コンバス紛失、大原に借りた、今日は疲れた。

小林 間違ひ気づいた。

杉本 コンパスなくした。

手島 体力的、精神的まいつた？

大原 Cしじだけにまかせるな！わかつたう言ひなさい。

杉井 大原の言う通り、コンパス見るべし、

梅野ていねいだった、岡田がんばった。

9月5日

定刻に出発、鞍部まで小野、孫兵衛まで手島、サイトまで杉本。

今日は特筆すべきこともなく、サイト地には記録的な早い時間に着いた。途中一昨年見落とした金子の木も発見。

サイト地は驚いたことに倒木がすさまじくテントを張る場所も気を遣わねばならない。また今日は水場までしっかり赤布を付けた。およそ5分たらずで行ける。C-Lの感想

小野 鞍部で南側にそれる。うまくできた、早めに着けてよかつた。

手島 1948からトラバース迷つた、大声を出せるようにする。

杉本 ヤブ漕ぎかつてに進む反省、自分もコンバス無くした。

杉井 手島声出してほし。

9月6日

今日は伊藤、小林。

朝出発の時、伊藤ではないIがスマホを紛失、1時間ほど探したが見当たらず。どうやらキジ打ちに行ったとき紛失したようだ、キジ場付近を入念に探すも出てこないのであきらめる、電波の届かないところではスマホ類は持つてゐる意味がないので、出さないに越したことはないとと思う。

しかしながら花沼到着9:35 1J-1で4年



黒岩北峰 後方は燧ヶ岳

大原何を思ったか湿原で田植えダンス? 小野なども加わってIを慰める。  
Iの感想 花沼田植えありがとう。  
途中いつもの黒岩北峰で記念撮影、黒岩本峰に行くところで少し道を間違えたが分水嶺まで予定通り到着。

9月7日  
今日は家子、桑原

どうたてて言つこともなくコザ池沢に到着沢に降りるところが悪くそこだけは注意が必要だ。出会いで昼食。ここで大原、またもや小林、家子を誘つて水泳。元気なものだ。

今年はOBワークで手白小屋が損壊したため加仁湯の社長の好意で加仁湯旧館の春日野部屋合宿所を出迎えの場所に貸していただい

## 2020年度現役指導スタッフ紹介

- 部長：高橋 信勝
- 監督：諏訪本充弘 (75)
- ハーチ：井上 堅一 (64)
- 浜口小百合 (27)
- 由水 雅也 (130612731064)
- 岩田 卓也 (265)
- 謏訪部貴亮 (12821265)

## 現役部員数

|     |                |
|-----|----------------|
| 準OB | 11名 (男10名 女1名) |
| 4年  | 10名 (男7名 女3名)  |
| 3年  | 9名 (男8名 女1名)   |
| 2年  | 17名 (男14名 女3名) |
| 合計  | 47名            |

## 年間行事予定

| 2019年 | 2020年          |
|-------|----------------|
| 10月   | ワーク合宿 (済)      |
| 11月   | 秋合宿 (済)        |
| 2月    | スキーア合宿         |
| 3月    | 春合宿            |
| 4月    | 新人歓迎W          |
| 5月    | 新人養成W          |
| 7月    | 初夏W            |
| 8月    | 夏合宿 (東北地方)     |
| 9月    | 正部員養成W リーダー養成W |

## ■主務連絡先

梅野 航 080-8078-1006  
zwangeru@gmail.com



## ■山小屋を利用したい方へ

左記の現役小屋係まで連絡願います。

○奥鬼怒山荘 (手白小屋)

小林 亮太 090-4011-7121  
ryoutagyuu@icloud.com

○針生山荘 (針生小屋)

尾島 佐和 090-8170-0101  
ojima0710@gmail.com

## 会員情報の連絡先のID案内

住所変更や慶弔事など、なため会員の動静については、下記の総務部宛にメールまたはファックスで送信していただか、あるいは直接担当者までご連絡願います。

総務部アドレス : soumu@natakekei.org  
ファックス : 03-3433-4245

小田野 義之 (775)

住 所 : 〒343-0021 埼玉県越谷市大林428-14  
電 話 : 090-8439-3463  
メ ール : yy8888dono@docomo.ne.jp

## 2020年度卒業生歓送迎会

日時 : 2020年2月29日 (土)

12:30~15:00 受付開始 12:00

会場 : アカデミコモン会議室(地図参照)  
会費 : 4,000円

現役実行係 : 尾島 佐和

手島 寛人 090-7040-1170  
t-handxhiro.1113@outlook.jp  
尾島 佐和 090-8170-0101  
ojima0710@gmail.com



## ■投稿募集のご案内

日頃ご愛読いただき、誠にありがとうございました。薰風では幅広い世代の皆様から投稿を募集しています。

【テーマは問いません】  
山やワントレンジにまつわるお話などに囚われず、皆様の身近な話題や趣味のお話から、野球、ラグビー、駅伝といったスポーツなどへの思い入れなど、何でも構いませんので、どしどしご投稿願います。

【投稿のスタイルも問いません】

紙面の都合がありますので、文章であれば原稿用紙3枚程度にまとめていただけと助かります。また、一部のページをカラー化しており、例えばインスタグラムのような写真がメインとなるご投稿でも構いません。お写真に簡単なコメントを付けていただくだけでも大歓迎ですので、よろしくお願いします。

【広告も募集しています】  
現在は同期会の協賛広告や自営業の方のPR広告などにご利用いただいておりますが、例えば地

|               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1段<br>10,000円 | 2段<br>15,000円 | 3段<br>20,000円 |
|---------------|---------------|---------------|

方住で観光業に携わっている方や、通信販売でご商売をされている方からの販促広告なども掲載させていただきたいと存じます。

### 【応募先について】

次号(第61号)掲載分

締切: 6月30日(火)

送付先: 巻末に記載の各編集委員または左記担当者

BN 879 井上 稔也

住所: 〒176-0022 東京都練馬区向山4-12-16

電話: 070-5466-1521

\*Faxでの送付を希望の方は送信先をお知らせしますので、右記電話またはメールにて一報ください。  
ショートメールでもOKです。

### 計報

|             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| BNBN 319368 | 荻原碩純OBがご逝去されました。            |
| BN 367      | 最上常四郎OBが2019年6月22にご逝去されました。 |
| BN 539      | 小島政男OBが2019年10月13にご逝去されました。 |
| BN 702      | 木本裕幸OBが2019年8月7日にご逝去されました。  |
| BN 367      | 阿部瑛一OBが2019年9月21にご逝去されました。  |
| BN 716      | 篠吉重OBが2019年11月13にご逝去されました。  |

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 発行日 | 二〇二〇年一月                |
| 編集  | 一色雅男 猪狩稔 加藤章一 住田孔一     |
| 発行者 | 明治大学体育会 ワンダーフォーゲル部なため会 |
| 印刷所 | 三協印刷株式会社               |

## 「編集後記」

BN 915 日暮 浩美

私事で恐縮ですが、今年還暦を迎えます。

大学を卒業して、この春ではや三十七年。職業柄、不登校を重ねても無事に社会人としての日々を送っているのは、現役時代に鍛えた気力と体力のおかげでしょう。もつとも、その貯金も底を尽きかけている気がします。

昨年の秋に新執行部が発足しました。元号が令和に代わって初の執行部です。大げさかもしませんが、MWVの歴史に名を刻みます。伝統あるMWVのバトンを令和の世も、しっかりとつないでほしいものです。

それに対して、昭和のワンドラーの目には現役諸氏の姿がまぶしく映ります。若いっていいなと、あらためて思います。将来がまだ開けているわけですから。人生引き算に差し掛かった身に若さのお裾分けがほしい。